

1 保健調査票で本人の状態や問題点を確認する

2 口を閉じて姿勢を正して座らせ、姿勢・顔面・口の状態を外部から診査し、異常があれば所見欄に記入する



3 顎関節部に指を当て、口を開閉させて顎関節の状態を診査する

- ◆顎関節
- 0…異常なし
 - 1…定期的観察が必要
開閉時の下顎の偏位、関節雑音
 - 2…歯科医院での精査が必要
顎関節・咀嚼筋痛、開口障害（最大開口量が2横指以下）

4 口を開閉させて歯列・咬合の状態を診査する

- ◆歯列・咬合
- 0…異常なし
 - 1…定期的観察が必要 軽度な不正咬合があつて、定期的な観察が必要
 - 2…歯科医院での精査が必要 咬合判定「2」の不正咬合があつて歯科医院での精査を要する
- その他 過蓋咬合、交叉咬合、缺状咬合、1歯のみでも著しい咬合異常、過剰歯等
- ※咬合判定「1または0」の場合でも、本人・保護者から矯正治療の相談がある場合、学校と協議の上で受診勧告書を出す場合の参考とする

※デンタルミラー：柄の直径・太さが参考になるので、担当校の器具を確認しておくことよ（ミラーの直径16～22mm、柄の太さ5～8mm）



かぐぜんとつ
下顎前突:2歯以上の反対咬合



じょうぐくぜんとつ
上顎前突:オーバージェット 7～8mm以上



かいこう
開咬:上下切歯間に6mm以上の空隙



そうせい
叢生:歯冠幅径の1/4以上が重なっている



せいちゅうりかい
正中離開:1|1に6mm以上の空隙

その他

- かがいこうごう
・過蓋咬合
- こうまこうごう
・交叉咬合
- きょうじょうこうごう
・缺状咬合
- ・1歯のみでも著しい咬合異常
- ・過剰歯 等

5 噛み合わせた状態で前歯部の歯垢の付着状態を診査する

ほとんどなし → 0
1/3以下 → 1
1/3以上 → 2



0



1

1/3 以下



2

1/3 以上